

記入要領（資格取得届）

- 1 本届は、新規資格取得者及び再取得者について、必ず作成し、提出しなければならない様式です。
- 2 本届のコード番号、長期組合員番号、共済組合名、支部又は所属所名及び届出年月日は共済組合の記入欄です。それ以外の項目は、長期組合員が記入し、共済組合経由で連合会へ届出してください。
- 3 本届の記入については、誤りのないよう次の要領を参照のうえ、記入してください。
 - (1) 組合コード欄（2～3 カラム）…組合コード表によるコードを記入します。
 - (2) 支部等欄（4～6 カラム）…組合において定められた支部等コードを記入します。
 - (3) 長期組合員番号（整理番号）欄（7～15 カラム）
 - ア 既に長期組合員番号が決定している方については、長期組合員番号を記入します。
 - イ 長期組合員番号が付されていない新規取得者については、標準報酬の通知である「標準報酬新規・転入基礎届〈A〉」を本届と同時に提出するようにしてください。
同時に提出の場合、「標準報酬新規・転入基礎届〈A〉」と本届の整理番号は、必ず同じ番号を記入してください。同時に提出しない場合は、長期組合員番号の決定を待って、長期組合員番号を記入してから提出してください。（整理番号は組合で適宜定めて記入します。英字、数字、カタカナ、－（ハイフン）いずれも使用することができます。）
 - (4) 年月日欄…届出年月日を記入します。
 - (5) 資格取得年月日・再取得年月日欄…新規取得者については長期組合員の資格を取得した年月日を記入します。
再取得者（長期組合員の資格を喪失した方が、その後再度長期組合員の資格を取得した方）については、再取得年月日を記入します。
 - (6) 組合員氏名欄（19～38 カラム）
氏名を記入し、カナ氏名欄はカタカナで左詰で記入します。姓と名の間は1マスあけ、濁点も1マス使います。
外国人については、カナ氏名欄は、カタカナのみ記入し、漢字氏名欄には、カタカナで記入します。
 - (7) 生年月日欄（39～45 カラム）
組合員の生年月日を元号コード（昭和：3、平成：4）を含めて記入します。また、生年月日は右詰で記入し、空きマスには0を記入します。
 - (8) 性別欄（46 カラム）…該当するコード（男性：1、女性：2）を記入します。
 - (9) 基礎年金番号欄（47～56 カラム）…既に基礎年金番号が決定している方は、必ず記入してください。
 - (10) 組合員の住所欄
 - ア 郵便番号（19～25 カラム）
定められた郵便番号を左詰で記入します。
海外居住者については、すべて「999－9999」と記入してください。
 - イ 住所
 - ① 組合員の住所を記入し、カナ住所はカタカナで左詰で記入してください。
 - ② 住所は必ず都道府県名から記入してください。
 - ③ カナ住所欄を記入する際、都道府県と市・区の間及び町村・番地の間などは1マスあけてください。
 - ④ 丁目・番地・号等は「－」（ハイフン）でつないで記入してください。
 - ⑤ 何々方場合は「何々様方」を記入してください。
 - ⑥ 海外居住者については、記入国名（「外国居住者に係る国名表」（資料6））のみを組合員住所Ⅰのカナ住所欄と漢字住所欄に記入してください。
 - (11) 被扶養配偶者の各欄（以下の欄は、組合員の申出により作成するものです。）
被扶養配偶者（国民年金第3号被保険者に該当する者）がいる方のみ以下を記入してください。
 - ア 被扶養配偶者氏名欄（19～38 カラム）
被扶養配偶者の氏名を記入し、カナ氏名はカタカナで左詰で記入します。
姓と名の間は1マスあけ、濁点も1マス使います。外国人については、カナ氏名欄には、カタカナのみ記入し、漢字氏名欄には、カタカナで記入します。
 - イ 生年月日欄（39～45 カラム）
被扶養配偶者の生年月日を元号コード（昭和：3、平成：4）を含めて記入します。
 - ウ 基礎年金番号欄…既に決定している被扶養配偶者の基礎年金番号を記入します。
 - エ 被扶養配偶者の住所欄
組合員と住所が違っている方のみ記入してください。
海外居住者については、記入国名（「外国居住者に係る主な国名表」（資料6））のみを被扶養配偶者住所Ⅰのカナ住所欄と漢字住所欄に記入してください。

注 被扶養配偶者の認定をするときは、この届を提出するほか、共済組合経由で所轄の年金事務所へ国民年金第3号被保険者の届出が必要となります。